

クラガリシダ	<i>Drymotaenium miyoshianum</i> (Makino) Makino	絶滅危惧 I 類	
(環境省:絶滅危惧 I B類)		ウラボシ科	
選定理由	生育地が限定されているうえ、生育環境も大木の樹幹と特殊なため、環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	<p>写真(村長昭義)</p> 	
形態の特徴	常緑性のシダ。シシランに似ているが、葉軸は葉の表面は凹になり裏面は凸となる。孢子嚢群は葉軸の両側の溝につく。		
生態的特徴	山地林下にある大木の樹幹に生育する。		
分布状況	本州(静岡県以西)から九州に分布する。岐阜県では県北東部に分布するが県南東部にも生育地がある。		
減少要因	生育地が山林開発の対象になりやすい。樹木の枯死や倒壊による生育地の消失、周辺地区の開発により空中湿度の低下をまねき枯死例もある。		
保全対策	生育地や周辺地区の山林開発を控える。生育に関しては適度な空中湿度が大切であることから、周辺地区の乾燥化を特に注意せねばならない。		
特記事項			
参考文献			

文責:村瀬正成